

平成22年度参画協働の取組 自己評価シート

(所管課名) 地域づくり推進課

1 平成22年度の細事業概要

必要に応じて行の幅を拡大すること

事業名	まちづくり支援事業	章	2
		節	1
細事業名	まちづくりサポーター養成・活用経費		
上位事業の目的	自主自立の地域づくりを進める		
H22年度細事業の取組み実績	19ヶ所の各まちづくり交流室が各校区自治協議会や管内地域の自治会等と協議して、地域の特性や実情に沿った講座やワークショップ等を開催。具体的には、地域の歴史を語れるリーダーの養成、健康運動サポーター、パソコンによる広報紙づくりで情報発信などを行う人材の育成を行った。 別添資料 (有・無)		
参画の手法	各まちづくり交流室のまちづくり担当職員が、地域での会合等へ積極的に参加し、情報の提供や地域課題の抽出・調整等を行う中で、地域の特性や実情に沿った講座やワークショップ等を開催する。		
協働の形態	住民自治の理解促進、意見調整力、企画力、実行力等の養成のための講座(各まちづくり交流室の地域性・課題にあわせた内容の講座)を行い、修了者を「まちづくりサポーター」として登録する。登録後、地域活動等に参画できる機会を各まちづくり交流室でコーディネートし活用を図ることにより、地域のまちづくり活動の活性化につなげるものである。		

2 細事業コスト

(単位:千円)

決 算 額	平成22年度決算	平成23年度予算	平成24年度見込み
予 算 額	675	950	950

3 細事業の参画協働に関する自己評価

評価ポイント		具体的な取組と評価・その理由など	
参 画	(情報共有)	【積極的な情報共有】 どのような広報活動を通じ、どのような市民を対象として、事業に関する情報を積極的に提供しましたか。また、どのような情報収集を図りましたか	・校区自治協議会や自治会等の会合等で「まちづくり活動の手引き」を配布し各課が行っている地域への支援メニューを紹介した。 ・校区自治協議会の定例会・役員会、自治会等の会合へ出席し、地域内の行事予定、課題の収集などに努めた。
		【参画の機会の提供】 どのような手法をどの程度組み合わせ、どのような市民を対象として多くの参画の機会を設けましたか	講座募集の呼びかけは、市政だよりでは行わず、公民館だよりや校区自治協議会等を通じて校区内の住民を対象に行っている。
		【市民ニーズ等の反映】 どのような点に工夫して市民からの意見や情報収集・意見交換等を行い、ニーズを事業に反映しましたか	まちづくり担当職員が、校区自治協議会や各種団体の会合等へ出席し、情報の提供・収集や課題に関する相談を受ける中で、地域の特性や実情に沿った視点で講座・ワークショップの内容を検討し、開催に結びつけている。
	課題と改善点	校区自治協議会や各種団体における活動そのものに、濃淡があり、情報の提供・収集、課題の抽出・解決などがスムーズに行えないところがある。	自己評価 A よくできた B まあまあできた C あまりできなかった D 全くできなかった B

評価ポイント			具体的な取組と評価・その理由など		
協働		【役割の分担】 当初の期待と比べ、市民との役割分担を明確にして対等な立場で事業を進めることができましたか	まちづくり交流室が地域の特性や実情に沿った講座を開催し、地域の方々が受講者となり、修了者を「まちづくりサポーター」として登録し、登録後は、地域活動等へ参画できる仕組みである。		
		【事業効果の向上】 当初の期待と比べ、市民との協働により、行政単独で行うよりも市民満足度が高まるなどの事業効果を上げることができましたか	講座修了者を「まちづくりサポーター」として登録し、地域活動の担い手として地域活性化に一役買ってもらおうとの仕組みである。老人会の集まりでバルーンアートの手伝いをしたり、読み聞かせを地域コミュニティセンターや保育園等で行ったりと一部では見られるものの、各まちづくり交流室による地域へのコーディネートが難しい現状にある。		
		【信頼関係の構築】 当初の期待と比べ、協働を通じて情報共有を図り、お互いの信頼関係を築き、双方が実感できましたか	講座募集の段階から「まちづくりサポーター」の趣旨を理解して応募をもらっている。さらに、講座の始めには、受講の心構えと同時にサポーターの使命・責務について説明を行い、終了後の協力についてのお願いをしている。		
	課題と改善点	講座を開催し、修了者を「まちづくりサポーター」として登録するところまではかなりのレベルで実施できているが、次の段階である地域へのサポーターの参画の機会をコーディネートする部分が難しいように見受けられる。 人材育成でもあることから、直ちに結果を出せるものではなく継続して取組むことが重要と考える。		自己評価 C	A よくできた B まあまあできた C あまりできなかった D 全くできなかった
情報共有・参画・協働の経費や期間に関する課題と改善点		最終的にサポーターとなった人には地域活動のリーダーとして活躍してもらおうという視点で、講座やワークショップの内容を吟味する必要がある。 登録されているサポーターの紹介なども会合や公民館などで行うようにすると、住民の方々に認知してもらえるのではないかと。			

4 平成23年度の計画

23年度以降の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 見直し・改善 ☐ 縮小・終期設定 ☐ 廃止・休止
H23細事業の取組み予定	地域づくりを担う新たな人材の養成と活用につなげるため、特に、地域のまちづくりに関心の高い青年層や団塊の世代等幅広い世代を対象にまちづくりサポーター養成講座を実施し、修了者を「まちづくりサポーター」として登録し、地域のまちづくり活動の活性化につなげる。
参画の手法	計画段階から地域の実情に応じた担い手づくりにつながるよう市民の意見を反映しながら講座を企画し、講座終了後は「まちづくりサポーター」として地域のまちづくり活動に主体的に参画できる機会を拡充する。
協働の形態	住民が地域活動等に参画できる機会を各まちづくり交流室でコーディネートすることにより、協働による地域のまちづくり活動を促進する。

□ まちづくりサポーター養成・活用

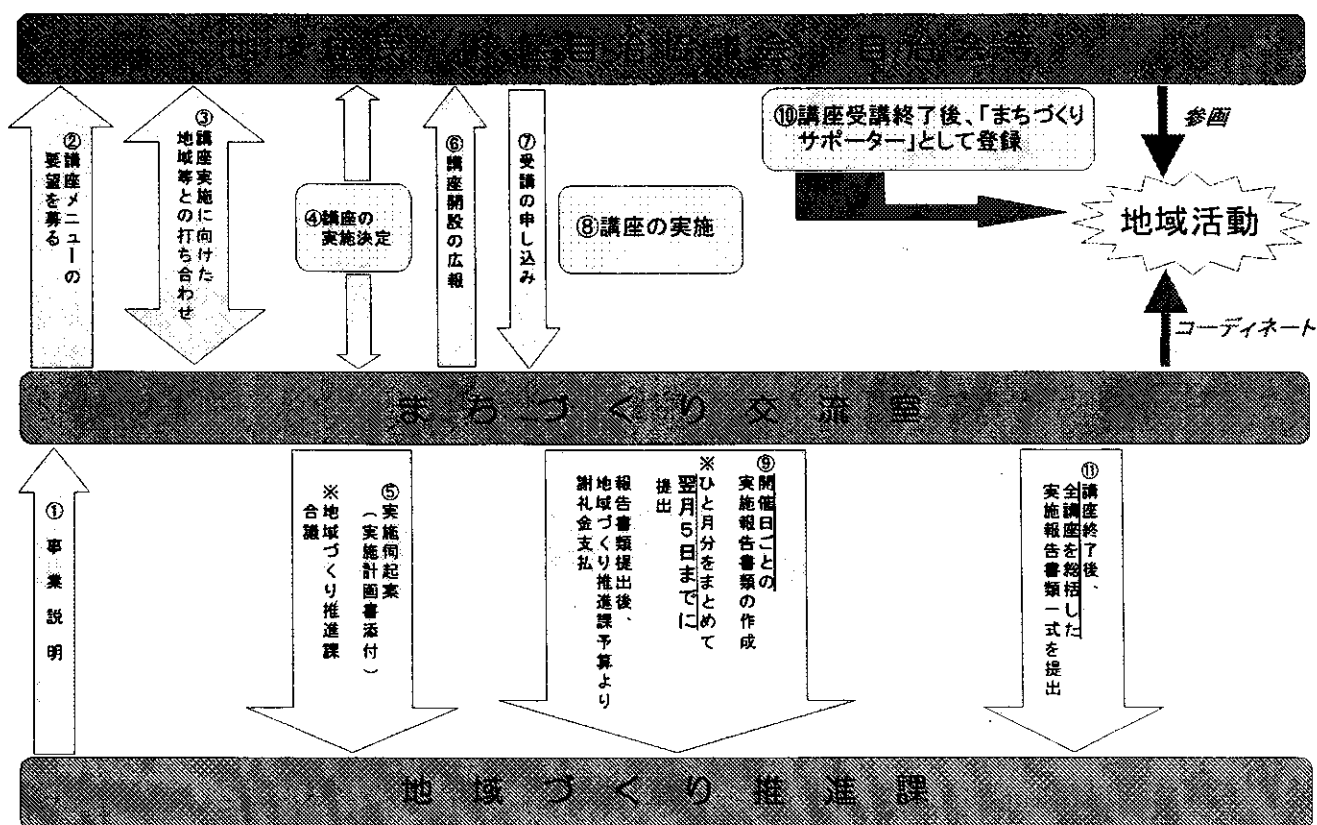
各校区自治協議会が地域課題の抽出や解決手法の企画・実施を行うにあたっては、さらなる能力の向上や、高齢化に伴うリーダー不足が懸念される校区もあるなど、主体的な地域づくりを担う新たな人材の養成と活用が課題となっている。

このようなことから、平成21年度からの新規事業として、住民自治の理念を持ち、関心の高い青年層や団塊の世代等の人材を地域の中で広く求め、具体的なまちづくり活動を担うことができるリーダー的人材を各まちづくり交流室において養成し活用を図る。

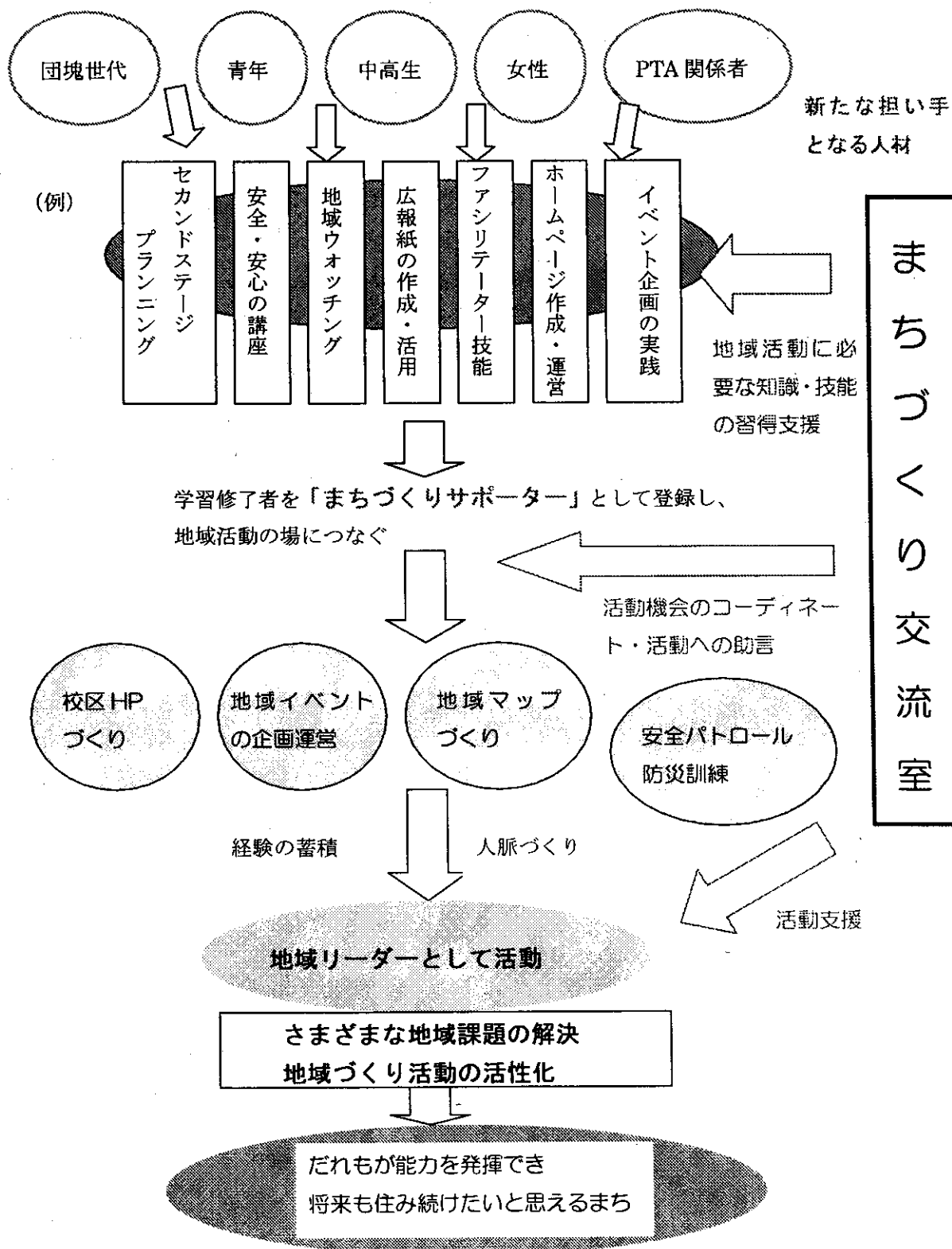
具体的には、住民自治の理解促進、意見調整力、企画力、実行力等の養成のための講座（各まちづくり交流室の地域性・課題にあわせた内容の講座）を行い、修了者を「まちづくりサポーター」として登録する。登録後、地域活動等に参画できる機会を各まちづくり交流室でコーディネートし活用を図ることにより、地域のまちづくり活動の活性化につなげるものである。

まちづくりサポーター登録者を実際に地域活動に活かすためには、このまちづくり交流室からのコーディネートが重要であり、講座終了後もきめ細やかな支援が望まれる。

まちづくりサポーター養成・活用制度（事務フロー概要図）



□ まちづくりサポーター養成・活用事業のフローイメージ図



H22まちづくりサポーター養成・活用講座開催実績一覧（H23.5現在）

交流室名	講座名	目的	開催回数	サポーター登録者数（人）
中央	地域活動の広報紙作成に役立つパソコン（ワード）の講座の開催について	自治協議会、各校区町内会、各活動団体の広報紙作成の手法を学ぶことで、まちづくりへの理解を深め、地域町づくりへの活性化へつなげる	4回	10
五福	インターネットの携帯電話サイトをつくろう	携帯電話のインターネットサイトをつくる技法を身に付け、「自分のお店」のみならず、「地域」の色々な情報をタイムリーに発信できるようにする。	3回	6
北部	まちづくりセミナー	まちづくりにつながる視点や考え方を学び、アクションを起こしていくきっかけにする	1回	50
河内	さあ！やるばいごみ減量Ⅱ	昨年に引き続き、ごみ減量についての知識や地域活動を広げる術を見につけて実践してもらう	4回	37
飽田	健康づくりはまちづくりⅡ	手軽にできる運動を学び、住民同士が健康づくり活動を行うことによって、地域力の向上につなげる	4回	16
天明	地域情報発信基地「天明ステーション」	まちの良さや素晴らしさ、各団体の情報などを天明総合支所だよりに掲載し、情報発信する	5回	15
南部	レクリエーション技術者養成講座	地域づくりを担う人材を育成し、地域活動を広げる術を身に付け、活動につなげる場とする	6回	37
幸田	ワークショップ「まちづくり活動の現状と今後の進め方について」	次世代を担うまちづくりリーダーを養成するとともに、幸田4校区の交流促進の足がかりを作り、まちづくり活動の更なる活性化を図る	1回	14
西部	わが町の防災管理体制	災害を未然に防止し、最小限に抑える危機管理防災体制の強化により、ともに支えあい、安心して心豊かに暮らせる生活の実現を図る	4回	13
秋津	横井小楠の生涯とその功績～もっと知ろう！そして広げよう！～	横井小楠について学習し、地域の良さを改めて知ること、地域貢献の第一歩とする	8回	15
龍田	エクセルを使った、決算書作成	パソコンを活用した収支報告書の作成を通じて、各種まちづくり活動団体の会計業務に優れた人材を育成する	4回	10

H22まちづくりサポーター養成・活用講座開催実績一覧（H23.5現在）

交流室名	講座名	目的	開催回数	サポーター 登録者数 (人)
託麻	地域で活かす エクセル2007	表計算ソフトの講習を通して、各団体の会計事務に活かす	4回	20
東部	○まちづくり講話とインターネット入門 ○ワード基礎	インターネット、ワードの基礎を学ぶことで、今後のまちづくり活動に活かす	5回	13
清水	まちづくりにパソコンを活用しよう	地域の情報の集め方やブログでの情報発信のやり方を学び、地域活動に活かす	8回	8
大江	一人暮らしお年寄り見守りサポーター養成講座	住民の高齢者への理解を深めるとともに、高齢者介護のための知識を習得する	5回	7
花園	ワード入門講座	IT講座を通して今後のまちづくり活動に活かす	4回	12
富合	富合にホテルを取り戻そう！	ホテルの成育をめざすための環境学習を通して、住み良いまちづくり活動につなげる	5回	8
城南	植木地区まちづくりリーダー講座 ～目指そう「元気、活気、住み良いまち」～	行政と協働して地域活動の参加増進と地域の問題解決能力の向上を図り、「住みよい地域づくり」の推進を図る	2回	0
植木	植木地区まちづくりリーダー講座 ～目指そう「元気、活気、住み良いまち」～	行政と協働して地域活動の参加増進と地域の問題解決能力の向上を図り、「住みよい地域づくり」の推進を図る	4回	0
			合計	291

清水まちづくり交流室・公民館 主催

まちづくりサポーター養成講座

まちづくりに パソコンを活用しよう

まちづくり活動にパソコンを生かしてみませんか？

インターネットで地域の情報を集めたり、ブログを使って交流を深めることも
できます。パソコンが苦手でも大丈夫！いっしょに学んでみませんか？

◆ 講座終了後、まちづくりサポーターとして登録します ◆

講座日程	土曜日 全 8 回 (9/25・10/2・10/9・10/16・10/23・10/30・11/13・11/20) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
講習場所	清水まちづくり交流室・公民館
対象	パソコンを利用したまちづくりに関心のある方
定員	10 名
学習内容	パソコン・インターネットのまちづくり活用法
講師	野中敏郎さん(麻生田校区まちづくり委員会 委員・IT 講師)
参加費	無 料
申込み方法	清水まちづくり交流室・公民館の窓口まで 往復ハガキ(講座名・氏名・住所・電話番号・年代 明記)
申込み期限	9 月 11 日(土)

■申込先 〒861-8066 熊本市清水亀井町 14-7

■清水まちづくり交流室・公民館 (TEL 343-9163)

開館時間は、午前 8 時 30 分から午後 10 時まで ★休館日は月曜日です。

「ふれあい・たすけあい あったかハートの大江のまちづくり」

～一人暮らしお年寄り見守りサポーター養成講座～

高齢者への理解を深めるとともに、要支援高齢者の方々を地域で見守っていけるやさしい大江のまちづくりを一緒に推進しましょう！



【会 場】 熊本市大江まちづくり交流室・公民館 C会議室

【対 象】 まちづくりに興味・関心がある方。(性別・年齢不問。大江校区在住・在勤が基本)
大江校区各種団体役員から推薦を受けた方 20人程度。

【日 程】

回	期 日	内 容
1	7月 2日(金) 午後7時～9時	講演】まちづくりサポーターとは？ 講師：旬紡ワークス 岡 裕二さん
2	7月 9日(金) 午後7時～9時	高齢者の体と心 講師：地域包括支援センター「うらら」職員
3	7月16日(金) 午後7時～9時	認知症について知ろう！ 講師：地域包括支援センター「うらら」職員
4	7月30日(金) 午後7時～9時	介護保険&介護技術を学ぼう！ 講師：地域包括支援センター「うらら」職員
5	8月 6日(金) 午後7時～9時	大江校区の現状と課題 講師：大江校区社会福祉協議会 会長 鳥崎一郎さん

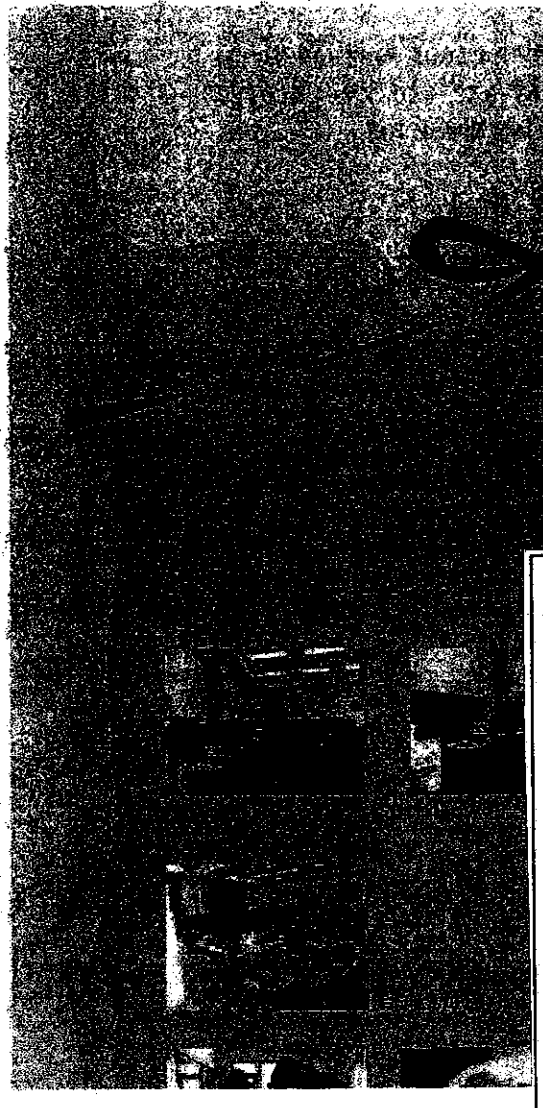
【その他】

- (1) 地域包括支援センター「うらら」(熊本市中央1)等との連携を取りながら、校区の実態を踏まえた講座内容にします。
- (2) 講座受講者の皆様をまちづくり推進の担い手として「まちづくりサポーター」に登録させていただき、「修了証」を授与します。

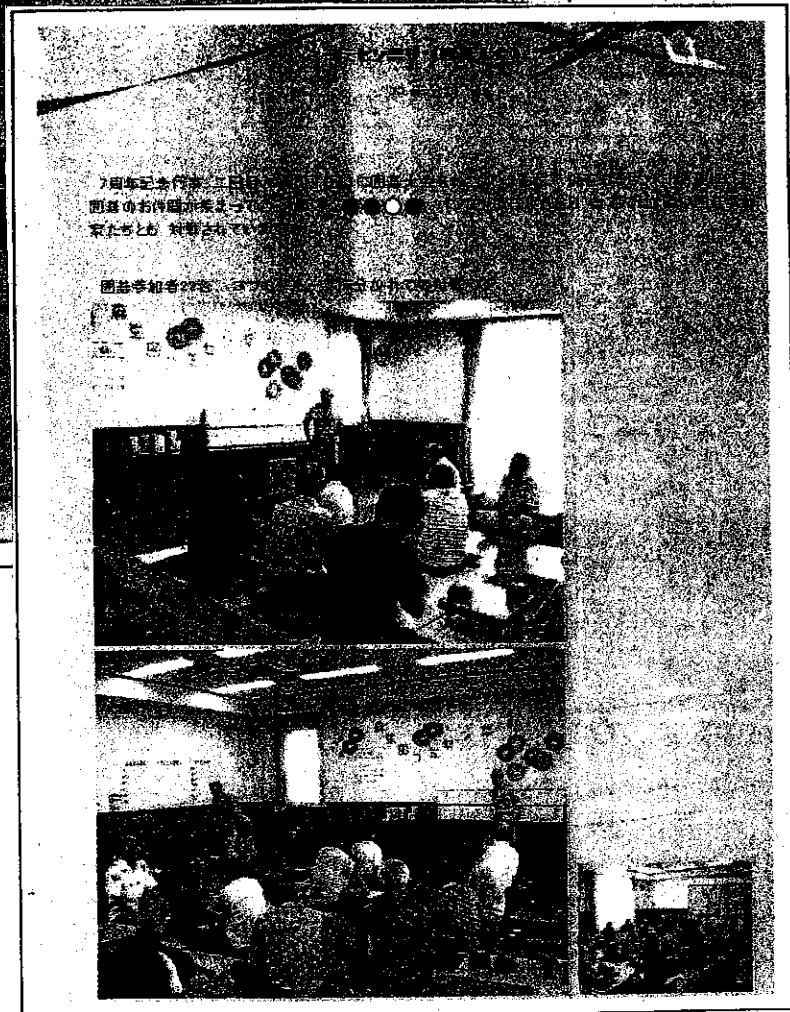
麻生田あかるいコミセンだより

麻生田にある麻生田地区のコミセンからのおたより

2010.12 ← 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 →



12.12.2010
community
branch-S



清水まちづくり交流室「まちづくりにパソコンを活用しよう」

修了者のブログ 「麻生田あかるいコミセンだより」

写真上／麻生田地域コミュニティセンターで行われたクリスマス会（11月25日開催）

写真下／麻生田地域コミュニティセンター7周年記念行事 囲碁大会（9月5日開催）